

環境配慮の中小企業優先

グリーン入札
指名競争にも

京都府は、環境に配慮した事業活動を行っている府内の中小企業に物品やサービスの受注機会を優先的に与える「グリーン入札」で、発注方式に指名競争入札も追加する。これまで少額の随意契約のみ発注していたが、金額の大きい指名競争入札も認め、企業の入札参加を促すことで入札件数を増やしていく。

グリーン入札は、国際標準規格「ISO 14001」や京都独自の環境認証「KES」などを取得した府内の中小企業であれば、府の業者リストに登録して入札に参加できる。

これまで物品で160万円以下、印刷業務委託で250万円以下の随意契約だけが対象だったため、昨年度の入札件数は21件にとどまっていた。

このため、府は本年度から指名競争入札も追加する方針を決めた。随意契約よりも高額の案件も発注できるようになるため、対象の事業範囲が広がり、入札件数の増加が期待できるという。前年度の倍増を目指す。

府は「登録業者にとっても、受注額が大きい仕事の方が入札に参加する意欲が高まるはず。今後、庁内呼び掛けて発注案件を掘り起こしたい」と入札課としている。

(高野英明)

府が拡充、発注増へ